

I. 次の楽曲はブラームス作曲、弦楽四重奏曲 第3番 第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)
(音程)

① 完全5度	② 長2度	③ 完全1度	④ 短3度
⑤ 減7度	⑥ 長6度	⑦ 完全11度 (loct 完全4度)	⑧ 長9度 (loct 長2度)

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、選号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ⑦を導音とする長音階

(b) ⑦を下属音とする旋律短音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、選号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(3点×2=6点)
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(c) ⑦を属音とする旋律短音階

(d) ⑥を第III音とする長調の第VI音の異名同音を主音とする和声短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 属七の和音 転回形 第3転回形 (2) 種類 長三和音 転回形 第2転回形
 (3) 種類 減三和音 転回形 第1転回形 (4) 種類 減七の和音 転回形 基本形
 (5) 種類 短三和音 転回形 第1転回形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい
(短調は和声短音階とする)。(a～c: 2点×3=6点、d: 1点×7=7点)

- a. (2)をVI度の和音とする調の平行調の《 同主調 》は本短調である。
 b. (3)と(5)を同時に含む調の属調は[嬰へ短調]である。
 c. (4)の和音の第三音を下属音とする短調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を下属調とする調は「 嬰イ短調 」である。

- d. 和声短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。
 I { 短三和音 } II { 減三和音 } III { 増三和音 } IV { 短三和音 }
 V { 長三和音 } VI { 長三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

<i>perlandosi</i>	8
<i>elegiaco</i>	10
<i>a piacere</i>	1
<i>semplice</i>	7
<i>Vivacissimo</i>	4
<i>ben</i>	6
<i>maestoso</i>	12

- 意味: 1. 自由に 2. 精力的に 3. *Vivace*よりも遅く 4. *Vivace*よりも速く 5. ただちに遅く 6. 正しい・十分な 7. 単純に 8. 消えるように 9. 優雅に 10. 悲しげに 11. 楽しげに 12. 威厳をもって 13. しかし 14. 音量をおさえて

IV. 次の旋律 AB の調名を答えなさい。また、楽曲 C は転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C **Allegro vivace**

(い)

(に)

A ト短調 B 嬰ホ長調

C (い) ニ長調 (ろ) ロ短調

(は) イ短調 (に) ホ短調